

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年11月4日				
放課後等デイサービス「とれいん」						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		十分なスペースを確保しており、支援等で環境面が原因となるトラブルは見られません。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		十分な人数確保がされており、不穏時の個別対応も可能です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		部屋ごとに活動等区別しながら、行っています。予定や手順などを示したものを提示し情報提供し支援を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃・消毒を行い、清潔な状態を保つよう対応しています。利用者の皆様にものびのび過ごしてもらえる空間作りに取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		落ち着かない様子や体調不良時に対応できるような個室等を設けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		職員会議や終礼で振り返り等行い、各職員が広く意見を述べています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		マニュアルに沿ったサービス評価を実施し、集計や分析を行い、今後についての対応も保護者様に報告しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議や終礼の場で気づいたこと等、何でも話してもらい、一つひとつ確認しながら支援等を進めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		盛岡市の運営指導を受け、不足や改善などが必要とされたところについて、検討し改善を行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部研修の参加の機会や毎月の職場研修の実施により、学ぶ機会の確保がされています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、ホームページ上で公表もを行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		毎年アセスメントを行い、モニタリングも実施したうえで、それぞれの課題に合わせたデイサービス計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		事業所会議の議題として提示し、全職員の意向を確認したうえで、最善の利益を考慮し、より良い支援を検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		作成したデイサービス計画については、事業所会議にて確認し、いつでも反復して確認し共有ができるよう整備しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々のお子様の様子について、支援記録等に残したうえでアセスメントの見直しを毎年行っています。また、変化等についても日誌に残し検討を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		必要な項目について、設定された様式を使用し、それぞれのお子様に合わせた支援内容の設定を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムの原案を各職員が確認し、意見を出し合って作成しています。	

活動の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎月固定とならないよう配慮しながら、活動の準備や提供を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		お子様の特性等も考慮しながら、個別での時間・集団での機会を組み合わせ支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		その日の流れを事前に作成し、職員の動きを確認したうえで支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		必ず、終礼でその日の様子や支援について職員間で振り返り、変化や対応の変更について検討・共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々支援記録を作成し、支援や対応の見直しを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6か月ごとにモニタリングを行い、デイサービス計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		日々、「4つの基本活動」を複数を組み合わせながら、支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		おやつや活動に選択肢を設けることにより、日常的に自分で選び、決める機会を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		事前に様子や状況について全職員に確認したうえで、児発官が代表で参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要がある際には、会議等で情報の共有や対応の統一化を図ることができるよう、関係機関等との連携を取っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校との連絡会への参加や互いの連絡帳の確認・おたよりの共有等で適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		サービス担当者会議等に参加し、互いに情報の交換や共有を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		情報の提供については、保護者様にも確認しながら、必要な情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		日々連携を図っているため、スーパーバイズ等受けることができるよう関係作りを行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	公共施設の利用時等に関わる機会などがあります。	事業所の合同行事等の機会を生かして交流を図っていく必要があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		施設の代表者が出席を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々、連絡帳や引き継ぎの際に家庭や事業所での様子についてやり取りを行い、保護者様と共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		外部での研修等について、チラシの配布や掲示などで保護者様に積極的な情報提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時やモニタリング時に、保護者様に実際に見ていただき、丁寧に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリングの際にご家族の意向を確認し、ご本人にもできる限り確認し、作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		実際に確認してもらい、口頭でも支援について説明を行い、同意をもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談等を受けた際には、その都度対応させていただき、必要であれば、正式な場を用意する体制を取っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		毎年放デイ合同の納涼祭を開催し、お子様だけでなく兄弟含むご家族様にも参加していただき、交流を深めていただいています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情対応から処理まで、体制の整備を行っており、迅速に対応を進められるようになっています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		おたよりの発行やホームページの更新を行い、保護者様やお子様への情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		取り扱いについては十分留意し、書面で確認を行っています。また、写真等利用する際には、その都度、改めてお子様や保護者様に確認を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		ボードや連絡帳の活用を行い、情報の伝達や共有をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	ホームページ等での事業運営の開示を行っています。	ホームページ等を活用し、地域の方々に限らず、一般の方々にも様子を見ていただけるよう取り組みが必要です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		策定したマニュアルをモニタリング時に直接確認していただき、周知を図っています。また、防災・防犯訓練や感染症対策委員会にて対応を確認しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し、見直しを行っています。毎月の避難訓練を行う他、救命救急研修会にも参加しています。また、盛岡市シェイクアウトにも参加しました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		プロフィールに記入していただき、服薬状況や既往歴についても事前に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対象のお子様については、指示書の確認と保護者様に直接確認を行っています。食物が関連する活動などについては、その都度、聞き取りを行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、計画に沿った対応を行うことで安全管理がされています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全確保について、事業所での対応を保護者様に説明し、了承いただいたうえで連携を図っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		インシデント・アクシデントについては、その日のうちに勤務職員内で状況の振り返りと対策について話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年二回虐待防止の職場研修に参加しています。参加が難しい職員への伝達研修も行い、適切な対応を取っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束適正化委員会を開催し、対応状況について振り返りを行い、上司含め、今後の対応について検討しています。その旨をデイサービス計画に記載し、お子様や保護者様に説明を行った上でご了解いただき、対応して	